

ニュースレター

2026年8月号

4月
～7月

このニュースレターでは、開館に向けた取り組みや工事の進捗、イベントなどの様子をお伝えしながら、開館までの歩みを皆さまと共有していきます。



おおぶ木のおもちゃ美術館（仮称）は、見る・触れる・感じる「遊びと体験」を通して、こどもから大人まで世代を超えて楽しめる木育体験ミュージアムです。木のぬくもりに包まれた、誰もが安心して集える居場所として、2027年春の開館を目指しています。



「木のぬくもり」を感じる空間

大府市の水源地である木曽地域の木をふんだんに使ったあたたかい空間。一步足を踏み入ると、森の中にいるような香りに包まれます。



大府ならではの「遊びと体験」

自動車・バイオリン・ぶどうなど大府市の魅力を生かしたオリジナル遊具たち。こどもたちの好奇心を引き出す多彩な遊びの世界が広がります。



世代をつなぐやさしい居場所

おもちゃを囲んで、笑顔が広がる。
館内では、赤いエプロンが目印の「おもちゃ学芸員」として、幅広い世代の方々が活躍します。



おおぶ
木のおもちゃ美術館
OBU WOODEN TOY MUSEUM（仮称）

発行：大府市企画広報戦略課

ニュースレター

2026年8月号

4月
～7月

5/30(土)、31(日)

第1期おもちゃ学芸員養成講座

おもちゃ学芸員は、来館者におもちゃの遊び方や楽しみ方を伝え、遊びを通じて親子や世代を超えた交流を生み出す「遊びの伝道師」です。

おおぶ木のおもちゃ美術館(仮称)の開館に向けて初めて養成講座を開催し、36名のおもちゃ学芸員が誕生しました。

現在開催が決定しているのは第5期までで、第6期以降は開館後に行う予定です。



6/5(金)

起工式

岡村市長、認定NPO法人芸術と遊び創造協会多田理事長、おおぶ木のおもちゃ美術館(仮称)建設協力会(建設工事に関連する施工業者で構成)など関係者が出席し、起工式を執り行いました。

式では、工事の安全と無事な完成を祈願し、施設の完成に向けた第一歩を踏み出しました。完成の日を楽しみに、今後も工事の進捗をお知らせしていきます。



ニュースレター

2026年8月号

4月
～7月

6/20(土)、21(日)

木育キャラバン in おおぶ

おもちゃ美術館の雰囲気を一足先に楽しめるイベント「木育キャラバン in おおぶ」を開催し、2日間で2,328名の皆さまにご来場いただきました

木のおもちゃで自由に遊べる体験や木工ワークショップを通して、笑顔あふれるイベントとなりました。ご来場いただいた皆さま、ご協力いただいたおもちゃ学芸員の皆さまありがとうございました。



7/3(金)

工事レポートVol.1

おおぶ木のおもちゃ美術館(仮称)の整備工事が始まりました。

建物内には足場が組まれ、約9カ月をかけて「旧大府市デイサービスセンター」が「おおぶ木のおもちゃ美術館(仮称)」へと生まれ変わります。

完成後、多くの皆さまに親しまれる施設となりますように。



ニュースレター

2026年8月号

4月
～7月

7/6(月)～8(水)

東京おもちゃ美術館での職員研修

「おおぶ木のおもちゃ美術館(仮称)」の開館に向け、市の職員が東京おもちゃ美術館で研修を受けました。

東京おもちゃ美術館のスタッフの皆さまに同行しながら、担当ごとの役割や、お客様・おもちゃ学芸員の皆さまとの関わり方について学びました。

多田理事長をはじめ館長、副館長からは、理念や運営についてもお話を伺い、「人」を大切にすることを改めて感じました。



7/14(火)、15(水)

第2期おもちゃ学芸員養成講座

第2期おもちゃ学芸員養成講座を開催し、新たに34名のおもちゃ学芸員が誕生しました。おもちゃや遊びの魅力を学びながら、参加者同士の交流も深まり、笑顔あふれる2日間となりました。

ボードゲームや木のたまごを使った遊びでは、自然と声が上がリ、会場は大盛り上がり。「童心に返って楽しめた」「久しぶりにこんなに笑った!」など、嬉しい感想が寄せられました。

